



WEEKLY

なごや ちくさ

題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ
 承認 1982年 8月24日
 例会日 火曜日 12:30
 例会場 愛知厚生年金会館
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
 会長 尾関武弘
 幹事 伊豫田博明
 会報・雑誌委員長 堀江宏輝

No. 25

意識を喚起し——進んで行動を

CREATE AWARENESS TAKE ACTION

2000~2001年度 RI会長 フランクJ・デブリン

きょうの例会
 第886回 平成13年1月23日(火)

中国琵琶演奏
 桜花学園大学留学生 宗 婷婷さん
 (紹介 大谷君)

先週の記録
 第885回 平成13年1月16日(火) 晴

◆“奉仕の理想”

◆出席報告

会員	70(62)名	出席	49名
出席率	79.03%		
前々回	12月26日	(修正出席率)	100%

◆ビジター紹介 2名

伊豫田幹事報告

1. 次回例会終了後、クラブアセンブリーを開催致しますので理事役員、各委員長の方はお残り下さい。その後理事役員会を開催致しますので、理事役員の方はご予定下さい。
2. 名古屋市博物館にて開催の「世界四大文明インダス文明展」割引チケットがございますので、お帰りにお持ち下さい。

新熊 清君 退会挨拶

今日は複雑な気持ちで出席させて頂きました。昨年7月に守山RCからこちらに移らせて頂いた時には、仕事の都合上、半年間休会致しましたがこの1月からは確実に火曜日の昼間は自由な時間と確信しており皆さまの仲間にして頂けると心待ちにしておりました。停年までの10年を研究の総仕上げに専念したいと思っておりましたが、もう数年仕事が入り火曜日の例会に出席するのは難しくなり、木曜例会の東山RCへ移らせて頂くことになりました。もし火曜日に時間が空きましたら出席させて頂きたいと思っております。クラブのご繁栄と皆様のご健勝を心より祈念いたしまして退会のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

宮尾副会長挨拶

中小サイトはなぜ儲かるか？

中小サイトの多くはニッチ（隙間）市場を狙っているため、有名サイトのようにマーケティングに多額の資金を割く必要がない。「インターネット＝オンライン販売」という考え方に固執していない。既存ビジネスの向上を目的に、コスト削減、効率化、顧客サービス、資金調達のツールとしてインターネットをうまく利用している。要はインターネットが収益性の向上につながるかどうかであり、インターネットを単独のものとして捉えるのではなく、既存の経営戦略にいかにつなげるかが重要である。

中小サイト成功の要因

①ニッチ市場を狙う

無数の販売サイトがひしめく厳しい市場において、中小サイトが生き残るためには「ニッチ市場を狙う」ことが不可欠である。ニッチ商品は店舗を構える場合は市場に地理的な限界があるが、世界中に販売が可能なオンラインでは十分な市場が見込める。ただ注意すべきは、「おいしい市場」とわかれば即大企業が参入してくる為、大企業では小さすぎるが中小企業にとっては十分な売上が見込める市場でなければならない。

例：フリッジドア・コム（冷蔵庫ドアに飾るマグネット。米国での市場規模 15千万ドル）

②ユニークな商品を作る

どこでも売っているような商品を、組み合わせや演出方法によりオリジナル商品として差別化する。

③大手にはないユニークなウェブサイトを作っている。

④商品や店に関して、充実したコンテンツを作っている。

⑤バナー広告は殆んど効果がない。（クリック率0.7%）

⑥サイトにおいて、顧客コミュニティーを築いている。

⑦卓越した顧客サービスの提供

- a 容易な返品等満足保証をつけている
- b 顧客の問い合わせに対する迅速な対応
- c セルフサービス機能をとり入れる
- d 個別サービス（例：自分だけのチョコレートのお勧め）機能の提供
- e プライバシーの厳守

以上米国での中小サイトの成功要因であるが、では我国ではどうすれば成功するか、目下クライアントと共に、模索中である。

クラブフォーラム

◆和田ロータリー情報委員長

ロータリー理解推進月間とは何、私が会長の時何をしたか、99～2000年度のウィークリーを読み直したが、何も触れていなかった。仕方なく、ロータリーの友、2001・1月号を見た。ロータリー理解推進月間特集があるではないか、タイトルを見ると、〈21世紀！ロータリーの未来はクラブから〉、〈ロータリーは実践哲学〉、〈地域社会に根差した広報活動〉、〈マスコミとガバナーとの懇談会〉、そして、《ポール・ハリスの「合理的ロータリアニズム」〈前編〉》とある。

次のページを見ると、「ロータリー用語早わかり」の見出しがあった。

「RIテーマ」とは、RI会長就任の直前年度の国際会議で発表するロータリー・メッセージ。このテーマは、ロータリー年度を通じて奉仕の実践に最も重要である。1997年RI理事会は、RIテーマは地区およびクラブの全役員に使用される唯一のものであり、ほかのテーマの使用は推薦されるべきでないと要請した。と書いてある。

千種ロータリーでは、年度の会長は何かテーマを掲げているが、この事は、RIに対する造反ではないか？何時から、千種独自のテーマがあるか過去の資料を出して見た。我がロータリーが始まった1982年度のRI会長は日本の向笠氏で、それから1989年度までは、アメリカと他の国が交互にRI会長を務めていた。その後3年毎にアメリカがRI会長に就任している事が解った。また、先に記した「RIテーマ」とは、真の

ロータリーを表現していることが理解できた。つまり、RI会長のテーマは、全世界のロータリアンに対し一言でロータリアニズムを浸透させる表現が使われている。確かに、RI会長のテーマは的を得ていると思った。多く使われる単語は、奉仕 (Service)、行動・活動 (Act・Action)、友情 (Friend)、平和 (Peace) などである。RI会長のテーマを振り返れば、ロータリーについても少しは理解できるのではないかと思った。

さて、問題は我がクラブにおいて、RIとは異なるテーマを用いていたか不安であった。造反と言われると問題がある。あえて、千種ロータリーの歴代会長がよく使用した標語(?)に何があるか見直してみた。「和」、「参加」、「楽しい」、「思いやり」などが多く使用されていた。RIの歴史が重厚なのか、まだ、千種ロータリークラブのロータリアンは幼稚園の園児のようで、外の世界に少し興味を示し始めた育ち盛りワンパクな子供のように思えた。

2001年の1月14日、交換留学生として4代目のルシアナが午後7時のVARIGの飛行機でブラジルへ飛び発った。涙・涙のお別れであった。3年間、私もロータリーの交換留学生と係わってきたが、今回は、特別な気持ちで見送った。なぜか、個人的には世界も理解し、人間は皆同じと、頭では理解していたつもりであった。しかし、私は狭い日本人根性が抜けない家族(ホストファミリー)であったことに気がついた。

世界のロータリーは、歴史から見ても彼らの世界観から見ても、我々と違い宇宙的発想法であるように感じられた。

財団奨学生 中村るりさん報告書紹介



9月から始まった前期も終了しました。中でも11月の教育実習は印象深いもので、グルノーブル大学付属語学学校の初心者クラスに研修生として派遣され、1週間、毎日4時間の授業を生徒と一緒に受講し、随時クラスでアシスタントティーチャーとしてフランス語の書き取り練習を読み上げたり、グループワークで生徒と一緒に練習問題に取り組みんだりしました。後期には実際に私が授業全体を

進行する教育実習があります。

11月にはサン・マルスランRC主催の手回しオルガン職人の講演会に招待されました。クラブ30年の歴史始まって以来の日本人訪問だったので大変歓迎され、2月に日本に関する講演会をすることになりました。オルガンはダンボール紙に穴をあけて曲の楽譜を作り、その紙をオルガンに挟んで手回しレバーをまわすと音が流れるしくみになっています。私も試してみましたが、思ったよりレバーが重く一定のスピードで長時間回すことは容易なことではありませんでした。

今後は2月の講演会の他、ホストクラブが訪問する旅行に私も参加することになると思うので、また次回の報告書でお伝えします。

(※紙面の都合上、報告書の中から抜粋して掲載させて頂きました。)

◆紙面の都合上、ニコボックスは次回掲載と致します。

◆次回例会(1月30日) 友愛の日